市民のくらしを守り、払える国保に
高すぎる国保料を下げましょう！

　払いたくても払えない、高すぎる国民健康保険料が、国保世帯のくらしを脅かしています。市当局も「安くはない」「高い」と認めるほどの保険料負担です。
　国保は札幌市の全世帯の3分の1、人口では4分の1が加入している医療保険です。年金生活者や近年多い非正規労働者等、低所得層が多いにもかかわらず、収入・所得に占める保険料の割合は、他の保険に比べて極めて高く「払いたくても払えない」のが実態です。

国保料引き下げ署名にご協力ください

２０１６年度保険料の比較（保険料の単位：円　２人世帯の例）

収　入	①国保料	②協会けんぽ	②に対する国保料の倍率	③札幌市共済	③に対する国保料の倍率
200万円	175，700	101，500	1．73倍	92，754	1．89倍
300万円	275，450	152，250	1．80倍	139，679	1．97倍
400万円	361，960	203，000	1．78倍	178，930	2．02倍

収入に対しても、他保険に比べても高い国保料

あまりにも高く、くらしを圧迫

●Ａさん（北区在住、27歳、単身者）。飲食店の店員で、年収は183万円。今年度の国保料は、15万7850円（年収の8.6%）。
●Ｋさん家族（夫51歳、妻51歳、長女14歳、東区在住）。夫は建築関係の仕事で、年収は359万円。今年度の国保料は、42万7130円（年収の11.8%）。
●Ｄさん家族（夫55歳、妻54歳、長女20歳、北区在住）。年収は306万円で、今年度の国保料は31万0250円（年収の10.1%）。支払いきれなかった前年度分も、17万5710円残っている。

札幌市の高すぎる国保料を引き下げる会
事務局：札幌社会保障推進協議会
Tel823-0867
Fax821-3701

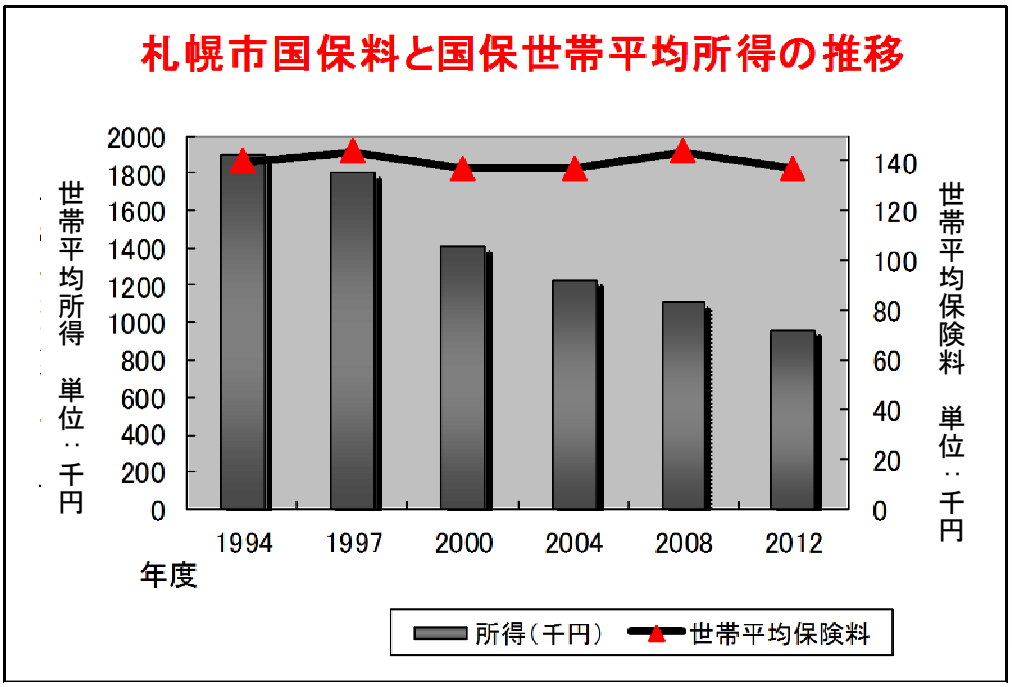
払える保険料で命と健康を守る国保に

２０１３年度札幌市国保世帯		
加入世帯	２９９，２４４	割　合
軽減世帯	１９７，７１９	６６．０７％
滞納世帯	４５，９１６	１５．３４％
資格証明書世帯	９，６１９	３．２％
平均所得	９５．９万円	

保険料が高すぎて、全額を払えない世帯が１５％以上になっており、異常な事態と言えるのではないでしょうか。

国保加入世帯は無職世帯が最も多く、収入が低いため、保険料の軽減を受ける世帯が６６％です。保険料を払うために、借金までして払う世帯もあります。それでも、１割近い世帯が保険料を払うことができない状態なのです。

札幌市は、「世帯の平均保険料を据え置いている。それが最大限の努力」と言っていますが、２０年余りで国保の世帯収入は半減しており、保険料を上げていなくても、収入に占める負担は２倍になっています。



国保料引き下げ署名にご協力を

手遅れ死を生む保険証取り上げは中止を！

高すぎて払えない国保料の滞納世帯に対し、市は預貯金などの差し押さえを行う一方、保険証の取り上げを約１万世帯に行っています。資格証明書は国保の資格はあるものの、病院の窓口では医療費が１０割負担のため、お金がなくて保険料を払えない世帯が、病院にかかることなどできません。

ぎりぎりまで受診を我慢するため、病院に来たときは手遅れで死亡する人が、毎年数人報告されています。命にかかわる、保険証の取り上げ－資格証明書発行は、やめるべきではないでしょうか。

市は高すぎる国保料を下げてください

◎札幌市は、2014年度16億円、2015年度44.7億円、2016年度45億円の国からの支援金を、市の財政繰り入れ分を減らすために使いました。これを保険料引き下げに使ってほしいものです。

◎一般会計からの国保会計への繰り入れで保険料を下げることは、全世帯の3分の1にあたる国保世帯の、健康と命を守るために役立ちます。